

第25卷・第7号

昭和28年5月15日第三種郵便物認可

昭和52年7月1日（毎月1回1日発行）

牧草園藝



緑肥作物の導入と効果—I

ハウス・施設園芸への緑肥作物

千葉研究農場

兼子達夫

ハウス・施設内の土壤が劣悪化している原因は、有機物の不足、塩類の集積、病害虫の多発等にあり、これらを総合的に解決する方法として緑肥作物の導入が各地で試みられ、イチゴ、キュウリ、トマト、スイカ、メロン等で良い結果が報告されています。

緑肥作物の栽培と鋤き込み

ハウス・イチゴ

- ◎イチゴあと地を4~5月に耕起、碎土、整地する。
- ◎緑肥作物を播種し、50~60日間栽培してすき込む。
- ◎すき込んでから約30日後に耕起、施肥しイチゴを定植する。

ハウスキュウリ・トマト

- ◎早めに収穫を切りあげ、6月中に耕起、整地を行う。
- ◎6~7月に緑肥作物を播種し、50~60日間生育させて鋤き込む。
- ◎25~30日後にキュウリ・トマトの定植を行う。

スイカ・メロン

- ◎栽培あと地を5~6月に耕起、碎土、整地する。
- ◎直ちに緑肥作物を播種し、50~60日間十分生育させ鋤き込む。
- ◎約1カ月後に再び耕起しスイカ・メロンを定植する。

緑肥作物

作物名（品種名）	10a 当り 播種量
トウモロコシ(スノーデント2号)	7~10kg
ソルゴー(スイートソルゴー)	5~8kg
スーダングラス(ハイスーダン)	5~8kg
シコクビエ(雪印系)	4~6kg

緑肥作物の栽培管理

- 播種法 畦幅25~30cmに密条播または散播
- 播種時期 5~7月
早めに播くのが良い。
- 施肥 一般のハウス土壤は過肥状なので無肥料でよい。
葉色を見て適宜追肥する。
- 播種後の管理 乾燥しないように十分灌水すること。
天井ビニールは取り高温過ぎないように注意。
- 栽培期間 生育日数50~60日、定植日の30日前まで。

緑肥作物の刈り取り・すき込み

■ 刈り取り

ハンマーナイフモアーや回転式草刈機(耕耘機用)で刈り取ると能率的。大型ハウスではトラクターを用いて立毛のまま鋤き込みもできる(次頁参照)

■ 5~6cmに細切

ソルゴーやシコクビエは茎が硬いので、カッターで細切するとよい。

■ 深く耕しそき込む

深耕し深層まで緑肥作物をすき込むほど土壤改良効果は高い。

■ 石灰窒素を併用

緑肥作物の分解を早めるため、石灰窒素を併用する。
家畜糞尿を併用すれば相乗効果があがる。

■ 腐熟期間

すき込みから定植までの日数は25~30日間必要。